

テクニカル・サービス・ブリティン 乗用車・ライトトラックタイヤ

タイヤの取り付け安全指導 コンチネンタル乗用車およびライトトラック用タイヤ

これは、タイヤ取付安全指導です。コンチネンタルAG社のすべてのタイヤブランドで有効です。タイヤの取り付けのための適切な訓練やサービス手順を提供するものではありません。資格のあるタイヤサービスの専門家に任せてください。

安全のための警告!

ホイールにタイヤを取り付けることには危険が伴います。

タイヤの取り付けは、資格のあるタイヤサービスプロフェッショナルのみが行ってください。

適切な訓練、道具、設備なしには、決してタイヤサービスを行わないでください。ツールが正しくないか、損傷しているか、不適切な状態のタイヤを装着しようとする、タイヤが暴発して深刻な怪我を負う可能性があります。

取扱説明書に記載されている装置、ウェブサイトに記載されているか、タイヤサイドウォールに記載されているメーカーの警告を常に読んで理解し、それに従ってください。

安全でないタイヤに空気を充填しないでください。充填中は、立てたり、傾けたり、タイヤとホイールのアセンブリに触れたりしないでください。現地の状況を考慮して充填中のタイヤからはっきりとした距離を保ってください。

安全グラス、防音ヘッドセット、作業靴などの適切な個人用保護用品を使用してください。

あなたの個人安全と他の方の安全のために:

一般論:

- タイヤは、ホイールの幅と直径の必要要件に適合し、関連する車両モデルの組み合わせとして承認されなければなりません。例えば、直径 17 インチのタイヤは直径 17.5 インチのホイールではなく、直径 17 インチのホイールに装着されなければなりません。タイヤが間違っただけのサイズのホイールに取り付けられている場合であっても、適切なホイールに取り付け直すことはしないでください - 直ちに廃棄してください。なぜならば内部に損傷を受けている可能性があるからです(外部には見えません)。内部構造が危険なほど伸びていて、取り付け中または使用中に故障する可能性があります。
- 適切なサイズのホイールで、良好な状態、清潔かつ、錆や腐食がないものだけが使用できます。ホイールは損傷していたり、形状が崩れていたり、摩耗してはいけません。
- タイヤはダメージを受けていたり、タイヤ内部に異物があつてはいけません。
- チューブタイプタイヤを新たに取り付けるときは、常に新しいチューブを使用してください。チューブは伸長します。伸長するにつれて、古いチューブに折り目が形成される危険性があります。そのため、再使用されたチューブが突然破裂する可能性があります。

- チューブレスタイヤは、チューブレスタイヤ用に設計されたホイール、すなわち安全ハンプまたは凹部を備えたリムにのみ取り付けられる必要があります。
- 安全上の理由から、チューブレスタイヤには常に新しいバルブを取り付ける必要があります。バルブメーカーの仕様ごおりの最大許容空気圧遵守してくださいー通常はゴム製 スナップイン型のバルブで、450 KPA (4.5 Bar) / 65 PSI です。この空気圧は、金属バルブまたは高圧用スナップイン型バルブにおいては必須です。
- タイヤ空気圧監視システム (TPMS) を使用している場合は、タイヤの交換中にセンサーを取り外しまたは交換する必要があるかどうか、製造元の推奨事項を参照してください。

タイヤ脱着:

- ホイールからタイヤを取り外す前に、バルブコアを緩めて取り外し、残圧が完全に無くなるようにする必要があります。

タイヤ装着:

- 常にタイヤビードとホイールを取り付け前に許可されたタイヤ装着用潤滑剤を塗布してください。但し、シリコン、石油または溶剤系の潤滑剤を使用してはなりません。
- タイヤは空気充填中、しっかりとタイヤチェンジャー上で固定されていないとなりません。タイヤがホイールを保持するための装置を持たない機械に取り付けられている場合は、安全ケージまたは他の拘束装置で充填させる必要があります。
- タイヤ/ホイールのアセンブリ品には、可燃性物質を絶対に入れないでください。燃えやすい物質をタイヤ/ホイールアセンブリ品に入れたり、発火させてビードをシートさせたりしないでください。この練習は非常に危険であり、タイヤまたはリムに検出されないダメージを与え、使用中のタイヤが故障する可能性があるからです。
- チューブレス乗用車タイヤを装着するときは、ホイールのウェル底部から来るタイヤビードが最初にホイールのショルダー部のハンプを乗り越えるときに十分注意する必要があります。ビードコアの亀裂を生じさせないために、必要な「ビードシート圧」は330kpa(3.3bar / 48psi)を超えてはいけません。タイヤがこの空気圧でも所定位置にシートしない場合は、一旦空気を抜き、原因を特定して除去する必要があります。その上で、手順を繰り返すことができます。
- タイヤビードがホイールのショルダー部に正確に装着されている場合に限り、ビードを最適にシートさせ、リムフランジに最適にフィットすることを補助するために空気圧を上げることができます。しかし、この「ビードシート圧」は決して400kpa(4.0バール) / 58psiを超えてはなりません。
- 一部の国では、上記と異なる最大取り付け圧力各地域の標準規格組織によって数値が決められています。地域の基準を尊重するために、下表にいくつかの国の例を示しますので参考にしてください(2018年7月現在。完全性および現実の正当性を保証するものではありません)。

国	最大装着空気圧	標準規格組織
ドイツ	装着時最大空気圧: 330 kpa (3,3 bar) / 48 psi ビードシート空気圧: 400 kpa (4,0 bar) / 58 psi	WDK
アメリカ/カナダ	275 kpa (2,75 bar) / 40 psi	RMA/USTMA
ブラジル	275 kpa (2,75 bar) / 40 psi	ALAPA
日本	300 kpa (3,0 bar) / 44 psi	JATMA

- タイヤが正しく取り付けられたら、車両メーカーが指定した使用圧力に圧力を調整します。

ランフラットタイヤ (SSR):

- 特別な技術が必要なため、SSRランフラットタイヤは、コンチネンタルの認定を受けた特別な訓練を受けたワークショップによってのみ装脱着することができます。SSRランフラットタイヤの詳しい取り付け手順/ビデオは、www.conti-ssr.com で入手できます。

連絡先:

テクニカルカスタマーサービス

Email: technical.bulletin.tires@conti.de